

▲形原温泉あじさいの里 名古屋地方本部 運輸車両支部 山守 勇

CONTENTS 2 地本・支部だより

- 令和6年度 東海鉄道OB会表彰式・総会を開催
東海鉄道OB会 事務局
- 支部総会開催(5月25日開催支部まで)
- コロナ禍後4年ぶりの新年会開催
静岡地本 身延支部 千頭和 勝
- 福祉ふれあいフェスタに鉄道車両写真を展示
静岡地本 浜松工場支部 鈴木 龍史
- 笠寺観音と見晴台考古資料館散策
名古屋地方本部 名古屋東支部 田中 充
- 中津川支部の取り組みに感謝状授与
名古屋地方本部 中津川支部 前田 幸一

10 JR東海トピックス

13 東海鉄道OB会 会員期待情報

14 読者のひろば

円空さんを訪ねて

名古屋地本 美濃太田支部 杉山 寛仁

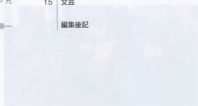
我が支部の誇り

織田信長生誕の地

名古屋地本 津島支部 鈴木 浩人

15 文芸

編集後記



令和6年度 東海鉄道OB会 表彰式・総会を開催

東海鉄道OB会 事務局

東海鉄道OB会は、令和6年5月29日(水)11時30分より名古屋マリオットアソシアホテルにおいて令和6年度会長表彰式及び総会を開催しました。

会長表彰式及び総会には、ご来賓としてJR東海代表取締役丹羽社長、常務執行役員早川総務部長、荒木総務部次長、JR貨物小山東海支社長、また、東海鉄道OB会から坪内会長をはじめ各副会長、専務理事、代議員及び会長表彰受賞者等41名が出席されました。

会長表彰受賞者は次の通りです。(敬称略)

○特別功労章

静岡地方本部 三島支部 渡邊 陸男
名古屋地方本部 陶都支部 増田 恒雄

○会員増強表彰

名古屋地方本部 中津川支部 鈴木 隆

○役員功労表彰

東海東京地方本部 施設支部 宮本 隆司
静岡地方本部 富士支部 刈部 行
身延支部 秋山 敦
藤枝支部 津金 敬三
浜松工場支部 後藤 守
名古屋地方本部 飯田支部 斎藤 尚武
中村支部 丸岡 賢次
守山支部 伊藤 洋
笠寺支部 近藤 誠一
垂井支部 堀田 忠臣
滋賀県支部 増田 巖
春日井支部 清水 源三郎
高尾寺支部 伊里 孝彦
中津川支部 小倉 善次
四日市支部 山川 信好
亀山支部 駒田 正志
東海大阪地方本部 蒲輪支部 本郷 良雄



▲特別功労章受賞者(増田・渡邊・会長)

【坪内会長挨拶】

ただいま表彰をお受けになった皆様、おめでとうございます。皆様は長年にわたり支部役員などをお勤めになり、その皆会員の勧誘、旅行会、清掃活動などを献身的に企画・実行することにより、OB会の活性化に尽力してられました。時には、高齢の先輩の枕もとに会報をお届けするなど、心の通った活動を続けてられました。お祝い申し上げるとともに、心から感謝いたします。



▲坪内会長

さて昨年の活動状況ですが、新型コロナウイルス感染防止の規制が解除され、活動再開の元年となりました。全地本で定期大会が開催され、支部においてもJR増収協力の旅行会、SL清掃や駅舎清掃、さわやかウォーキングのガイドなど、活発な活動が展開されました。ただコロナ前と比べると、活動を若干手控えた感もありますから、今年はさらに楽しく活発に活動していきたいものと思います。

またご夫婦での活動参加を歓迎したいと思います。一緒にOB会活動に参加されれば、楽しみが2倍になると思いますし、OB会そのものの活性化にもなるのではないのでしょうか。

ところで今日は皆様にご紹介したい方がおります。「しげもとまろ(紫本護)」様です。

私たちOB会は、これまで東海ときわ会と歩調を合わせて参議院議員選挙を戦ってきました。しげもとまろ様は、来年7月の参議院議員選挙に東海ときわ会の公認推薦候補として立候補される予定ですから、これからの1年間、私たちも様々な場面でご支援していきたいと思っております。皆様のご理解とご協力を、宜しくお願いします。

結びとして、この1年間の皆様のご健勝とOB会各地本・支部のますますのご発展を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。



▲総会の模様

【丹羽社長挨拶】

JR東海の社長を務めております丹羽でございます。昨年に引き続きお招きいただき有難うございます。先陣方とまたお会いできることを大変楽しみにしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

あらためまして、本日の東海鉄道OB会総会の開催、まことにおめでとうございます。

それから、長年にわたりOB会運営・発展に大変貢献されてきて表彰を受けられた皆様、まことにおめでとうございます。

普段からOBの皆さまには、さわやかウォーキングの運営のお手伝いや、あるいは駅舎等の美化にご協力いただき、大変お世話になっております。それから、JR東海及び当社グループ会社のさまざまな商品をご購入頂いております。篤く御礼を申し上げます。

JR東海の経営の状況について少しお話をさせていただきます。

昨年のこの場では、ようやくコロナも落ち着いてきて2022年度は黒字になったことをご報告いたしました。その後もお客様のご利用が順調に回復して、昨年度の運輸収入はコロナ前の2018年度と比べて96%まで戻ってきました。日本



▲JR東海 丹羽社長

の社会・経済がコロナから非常に強く回復してきたことを反映したものだと考えております。しかしながら、出張などビジネス目的でのお客様がウェブ会議の浸透で減少したのち、今もまだ戻り切っておらず、まだまだ厳しい経営状況が続くものと考えております。一方で、インバウンドのお客様はコロナ前よりも随分増えております。新しいお客様に向けた商品などを自由な発想で開発する取り組みをしているところです。

同時に、当社にとって最も重要である安全安定輸送を守るために日々努力しています。昨日も大雨が降り線状降水帯が発生する予報がありましたが、こうした急激な気象条件の変化に対応すべく技術開発を進めているところです。

また、リニア中央新幹線の件については、大きな期待をいただくと同時にご心配をかけているところです。南アルプス・トンネル静岡工区は最も難しい工事の一つですが、残念ながらまだ着工ができていません。ただ、この一年間で地元の方々とコミュニケーションが相当進んだ実感がございます。まだまだ道半ばではありますが一日でも早く着工すべく努力を続けているところです。

このように様々な施策を進めていくうえで、皆様の温かいご支援が大きな力になりますので、どうぞよろしくお願いいたします。当社としても、会員の加入拡大へのご協力など、OB会の発展に向けて積極的に取り組んでまいります。

今後の皆さまのご健勝と、OB会の益々のご発展をお祈りし、私からの挨拶とさせていただきます。本日のご盛会、まことにありがとうございました。

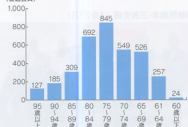
■会員数

令和6年3月31日現在

	支部数	普通会員	遺族会員	計	対前年比
東海東京地方本部	4	542		542	98.2%
静岡地方本部	18	1,195	131	1,326	91.3%
名古屋地方本部	38	1,531	26	1,557	86.4%
東海大阪地方本部	4	246		246	98.4%
計	64	3,514	157	3,671	90.5%

■年齢構成

(普通会員)



【令和6年度東海鉄道OB会基本方針】

1. 会員の増強

- (1) JR退職者の新規入会促進
- (2) 未加入者の発掘と入会勧誘(グループ会社の未加入者)
- (3) 退会者の抑制
- (4) 女性会員(準会員・遺族会員)の入会促進

2. 支部活動の活性化

- (1) 積極的な地域との交流
- (2) 会員相互の交流活動を充実
- (3) 支部間交流の推進

3. JR東海及びJR東海グループ会社への協力

- (1) 旅行会の開催
- (2) SL等鉄道展示車両の整備・清掃及び無人駅の清掃・美化等
- (3) さわやかウォーキング、各種イベント等への協力

4. 会員への情報提供

- (1) 会報の充実
- (2) ホームページの活用

5. 新型コロナウイルス感染症防止対策の徹底

- (1) 基本的な感染対策の継続

支部総会開催 (5月25日開催支部まで)

●名古屋地本・上伊那支部 (3月22日)



●名古屋地本・岐阜工事局支部 (4月13日)



●名古屋地本・勝川支部 (4月18日)



●静岡地本・身延支部 (4月20日)



●名古屋地本・津島支部 (4月20日)



●静岡地本・浜松工場支部 (4月21日)



●名古屋地本・春日井支部 (4月21日)



●静岡地本・三島支部 (4月23日)



●名古屋地本・垂井支部（4月25日）



●静岡地本・焼津支部（4月27日）



●名古屋地本・滋賀県支部（4月27日）



●名古屋地本・東濃支部（4月29日）



●名古屋地本・稲沢支部（5月6日）



●名古屋地本・中津川支部（5月6日）



●静岡地本・菊川支部（5月10日）



●静岡地本・富士宮支部（5月11日）



●名古屋地本・半田支部（5月11日）



●名古屋地本・中村支部（5月11日）



●名古屋地本・陶都支部（5月11日）



●名古屋地本・津支部（5月11日）



●名古屋地本・高蔵寺支部（5月12日）



●名古屋地本・西濃支部（5月12日）



●名古屋地本・三河支部（5月16日）



●静岡地本・沼津支部（5月18日）



沿 線 会 社 活 動 の 一 瞥

●名古屋地本・豊橋支部（5月18日）



●名古屋地本・名古屋東支部（5月18日）



●静岡地本・藤枝支部（5月25日）



●静岡地本・島田支部（5月25日）



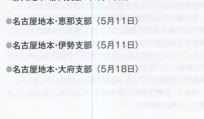
●名古屋地本・笠寺支部（5月25日）



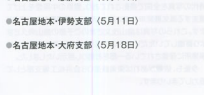
●名古屋地本・鈴鹿支部（5月25日）



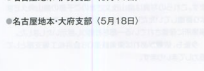
●静岡地本・静岡支部（4月15日）



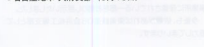
●名古屋地本・恵那支部（5月11日）



●名古屋地本・伊勢支部（5月11日）



●名古屋地本・大府支部（5月18日）



コロナ禍後4年ぶりでの新年会開催

静岡地本 身証支部 千頭和 勝

1月24日、身証線駅次口駅近くにある「食彩しん坊」にて、14名の会員が参加し盛大に新年会を開催しました。

コロナ禍前も、毎年開催しておりその度に、宴会バス温泉や会場近くを散策し楽しんできましたが、今年は一か所に落ち着き「食」だけで楽しもうとの意見もあったことから、12時から飲食に専念しました。

冒頭、佐野支部長より「今年は正月から贈りニュースが続いていますが、会員の皆さんが元気な顔を見て新年会が開催できることを大変うれしく思います。」との挨拶から始まり、田中会計幹事の元気一杯な乾杯の音頭で大宴会がスタートしました。

67歳の若い会員から83歳の高齢会員までが、おいしい料理に舌鼓を打ちながら甲州弁（山梨県独特の方言）での会話で盛り上がりました。

席上、高齢会員から「おまんとう、まだ若くて羨ましいじゃんね」（君たちはまだ若くて羨ましいね）、「そんなえこん、ええですよ。おまんとうより、こげつとして、よっぽど若いじゃん」（そんなことはありません、私たちがよっぽど若くして、ずっと若いですよ）など、時間の経過とともに舌もさらに滑らかに、近況報告や各会員が国鉄新入職員時の身証線での出



▲新年会に参加した皆さん

来事や風景など、当時の懐かしい思い出で盛り上がりあっという間の2時間でした。

司会者より、宴たけなわですが…との言葉がかかると会員より「こんだ、いくんちに来るぞ?」（今度は、いつ集まるのですか?）などの名残惜しいような言葉もありましたが、渡邊顧問の一本締めで無事に宴会を閉会することが出来ました。

帰り際、玄関で記念撮影を行い、また次の機会を楽しみに再会できることを約束し帰路につきました。

福祉ふれあいフェスタに 鉄道車両写真を展示

静岡地本 浜松工場支部 鈴木 絃史

浜松工場支部として2019年まで浜松市ボランティア連絡協議会に加盟、浜松市社会福祉協議会主催の福祉ふれあいフェスティバルに参加、「昭和の遊び」と鉄道車両写真の展示を行い、やしろベー、どんぐり工作、竹細工、ごむ鉄砲等々さまざまな昭和の遊びを披露展示、希望者には無料で提供するなど市民との交流を図ってきました。

2020年以降コロナの感染拡大により福祉ふれあいフェスティバルが中止となり、支部としても昭和の遊びの工作をする人が高齢化したこともあり、2023年ボランティア連絡協議会から脱会いたしました。昨年福祉ふれあいフェスティバルが再開され、浜松市ボランティア連絡協議会より昭和の遊びはなくても鉄道車両写真の展示を是非やってほしいとの依頼があり、前段として、11月2日～6日福祉交流センターにおいて写真展示会が開催され、浜松工場支部としても、国鉄職員で今は古き島山茂文さん（2021.12月没享年96歳）のSL白黒写真パネル22枚を展示、更に12月16日の「福祉ふれあいフェスティバル」において島山茂文さんの22枚以外にも会員の平野秀雄さん（24枚）鈴木将美さん（12枚）の在来線車と新



▲展示会の様子

幹線車両のカラー写真を展示し大変好評をいただきました。

特に島山さんのSL白黒写真はSLの姿が消え去ろうとした時代の写真を全国で撮影されており、雪原の中黒煙を上げて爆走する蒸気機関車の姿は迫力があり大変貴重なものであります。これらの写真は島山茂文さまのご子息の島山典久さまより寄贈していただいたものであり、現在東海交通機械浜松事業所に保管されている一部をお借りし展示いたしました。

今後も、依頼があれば東海鉄道OB会浜松工場支部として協力してまいります。

笠寺観音と見晴台考古資料館散策

名古屋地方本部 名古屋東支部 田中 充

名古屋地域協議会(三金会)の支部間交流の活動として、今回で9回目を迎えるレクリエーションを去年の11月16日に開催しました。

名古屋地区協議会(三金会)とは、名古屋市内及び近隣の6支部(名古屋東、中村、守山、笠寺、名古屋運輸車両、蟹江)で構成されており、現在は、名古屋東支部が幹事となって、毎月第三金曜日に各支部の代表が集まって今後の活動等について協議を行っています。主な活動としては、毎年春に「お花見バスの日帰り旅行」、夏の「納涼会」、年末の「忘年会」及び「カラオケ大会」を開催していましたが、コロナウイルス感染拡大に伴い、各種行事は中止となっていました。

コロナ禍も一時的に収まり、散策を兼ねた交流会として、名鉄本笠寺駅に現地集合後、笠寺観音を参拝し、見晴台考古資料館見学後は、笠寺駅近くの「湯〜とびあ宝」で昼食となるコースで募集したところ、22名の会員が集まりました。

当日は風もなく晴天に恵まれ、散策には最適な日となりました。最初に訪れた、笠寺観音(笠置寺りゅうふくじ)は、徳川家康が名古屋城築城にあたって鬼門の方角にある寺院を鎮



▲レクリエーションに参加した皆さん

護とした尾張四観音の一つに数えられており、当日は祈願日で、「六の市」も開かれ境内は出店も多く参拝客でにぎわっていました。次の名古屋市見晴台考古資料館は、弥生時代後期の環壕集落として知られる見晴台遺跡(みはらしだいせき)にある資料館で、見晴台遺跡から出土した資料、発掘調査した状態を復元した住居跡観察などを見学しました。

当日は天候にも恵まれ、ウォーキングも兼ねての散策で軽く汗をかいた後の目的地「湯〜とびあ宝」では、昼食時のビールは最高で、久しぶりに顔を合わせた参加者もあり、大いに話で盛り上がりました。多くの会員が参加できるよう支部間交流を今後も継続していきたいと思っています。

中津川支部の取り組みに感謝状授与

名古屋地方本部 中津川支部 前田 幸一

昨年11月5日、中津川駅長から、定期的なさわやかウォーキングでの協力をはじめ鉄道への理解の取り組み、SLの維持・管理、地域住民との交流を評価していただき、「感謝状」を拝受しました。

中津川支部では継続した活動を常に意識して取り組んでいます。一昨年11月「中津川駅開業120周年記念ウォーキング」に併せて「懐かし鉄道展」を開催しました。

また「鉄道のまち中津川」を推進するため1月には「OB会中津川支部」「中津川市D51会」連名で鉄道関係資料・写真等の保存と「中津川鉄道資料館」の建設・整備を中津川市長、中津川商工会議所会頭に要望書として提出し、中津川の地がSL時代からニアに向けて鉄道の光を灯し続けられるよう活動をしています。

昨年11月5日秋のさわやかウォーキング「天空の城苗木城跡と中山道をめぐる旅」が快晴の中開催され、OB会員が経路の案内、交通安全の取り組みと共に本町公園に展示の「D51266号」機関車を開放「中津川市D51会」会員が現車への乗車、汽笛吹鳴など参加者の手助けをして好評を得ました。コースには中津川市街の旧中山道中津川宿泊を中心に毎



▲活動風景

月開催の「六畜市」も開催され、コース途中には「旧北恵那鉄道木曾川鉄橋跡」、桃山公園「奇石夫娯遊」、目標地の「苗木城城跡」など12キロメートルの長距離コースでしたが、1,051人の参加がありました。

中津川支部ではニア「仮称岐阜県駅」建設の工事現場を眺めつつ、鉄道の発展に継続した活動を展開しようと誓っています。

2024年度 重点施策

詳細は
こちらから→



本年度も、鉄道の原点であり、すべての施策の大前提となる安全の確保を最優先として、社員一人ひとりが日々の業務に真摯に取り組むとともに、訓練等を通じて能力・技術を向上させます。その上で、生活様式や働き方の変化によりニーズが多様化していることや、労働力人口の減少に伴い業務のあり方の変革が求められていること等、当社を取り巻く環境の大きな変化を踏まえ、ICT等の最新の技術を活用して効率的な業務執行体制を構築する「業務改革」と新しい発想による「収益の拡大」の2つを柱とした経営体制の再強化に取り組みます。

また、これまで蓄積してきた知恵や経験を活かしつつ、「自由」を考え、大いに議論し、粘り強くやり抜く」という企業文化を作り上げ、過去のやり方に捉われることなく、前例のないことに挑戦しながら、中長期的な観点で各種施策を力強く推進します。

これらにより、「日本の大動脈と社会基盤の発展に貢献する」という「経営理念」をより高いレベルで実現します。

1

安全・安定輸送の確保

- ▶ 地震対策をはじめ構造物のさらなる強化に取り組みます
- ▶ 自然災害等への対策に取り組みます



▲脱線防止ガード



▲大規模改修工事



▲津波避難誘導訓練

2

輸送サービスの充実

- ▶ 「のぞみ12本ダイヤ」の活用やN700S・315系の投入等により、引き続き輸送サービスの充実に取り組みます



▲N700S



▲通勤型電車315系



▲新型特急車両385系量産先行車のデザインイメージ

- ▶ より便利に安心して鉄道をご利用いただけるよう設備の整備を進めます



▲東海道新幹線の自動運転走行試験



▲新大宮駅における車両とプラットフォームの設置・側面対向完成後のイメージ



▲在来線のホーム可動橋

3

超電導リニアによる中央新幹線計画の推進

- ▶ 工事の安全・環境の保全・地域との連携を重視し、沿線各地で工事を精力的に進めます



▲伊勢山トンネル(青木川工区)
本線トンネルの掘削(中央構造線部)



▲第一首都圏トンネル(東百合台工区)
調査掘進の完了



▲有識者会議の環境保全に関する報告書の受領
(2023年12月)

4

超電導リニアの技術開発によるコストダウン及びブラッシュアップ

超電導リニアの技術開発によるコストダウンとブラッシュアップに引き続き取り組みます



▲LO系改良型試験車



▲保守業務におけるIoTの活用イメージ

5

営業施策の強化

東海道新幹線のネット予約を多くのお客様さまにご利用いただけるよう取り組みます
需要喚起策により鉄道のご利用及び収益の拡大を図ります

▲「進し旅」キャンペーンの取組み
例(東片ゴコンと連携した企画)▲東海道新幹線開業60周年
記念ロゴマーク

6

グループ事業の推進

グループ事業に携わる社員の熱意と能力を高めるともに、様々な取組みを通じて収益力の拡大を図ります



▲「アスティ」ビルリニューアルのイメージ



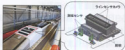
▲中央新幹線神奈川(原宿)駅(仮称)付近で運営する「FUN+TECH LABO」

7

技術開発の推進、高速鉄道システムの海外展開

安全とコストダウンに資する技術開発を推進します
高速鉄道システムの海外展開に取り組みます

架線三次元検査装置



▲状態監視技術を活用した検査や保守の高度化・省力化の例(新幹線の高速走行中に検査可能な架線検査装置の開発)

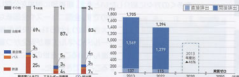
電車線金具異常検知装置

▲データ・画像分析技術を活用した
列車の車体検査のイメージ

8

持続可能な社会の実現に向けた取組み

地球環境保全等の持続可能な社会の実現に向けて取り組みます

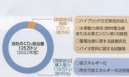


▲旅客輸送における輸送量・エネルギー消費量・CO2排出量比率

▲当グループのCO2排出量

Switch! SUSTAINABLE TRAIN

鉄道の環境優位性のPR強化に向けた鉄道各社の共通ロゴマーク「スローガン」



▲CO2削減の取組み

- ハイブリッド方式車両の導入
- 車載電力装置・蓄電池の導入
- 省エネルギー化
- 省エネ型車両の導入
- 省エネ型車両の導入
- 省エネ型車両の導入



▲水素動力列車(燃料電池車、水素エンジン車)



▲東海道新幹線の「のり面」を活用した太陽光発電(設置する太陽光パネルのイメージ)



▲東海道新幹線再生活館(旧国府下地駅の駅舎・子ども館の活用)

輸送量・エネルギー消費量はエネルギー・環境統計要覧(2020年度)、CO2排出量は国土交通研究所調査発表ガイダンス/リポートのデータ(2020年度)をもとに作成

第44回運輸業務研究発表会 国土交通省鉄道局長賞受賞

●東海鉄道事業本部

11月9・10日、一般社団法人日本鉄道運輸協会主催の「第44回運輸業務研究発表会」が東京都内で開催され、全国27社局30チームが参加し、安全、快適性の向上、異常時対応など各社が抱える業務課題とその改善について発表が行われました。当社からは、名古屋運輸区と富士運輸区の2チームが出席。名古屋運輸区は「運転中における適切な注意配分について」と題した、運転士の視線データの数値化やより安全な視線移動の指標の発見についての発表を行い、国土交通省鉄道局長賞を受賞しました。

今後も研究で得た知見を職場内のみならず社内全体へ水平展開し、運輸業務における意識配分の見える化、数値化によって安全意識を向上させ、当社の安全・安定輸送の確保に貢献していきます。



◀国土交通省鉄道局長賞を受賞した名古屋運輸区の皆さん



◀発表風景

中央新幹線のシールドトンネル工事として初 第一首都圏トンネル (東百合丘工区) 報道公開

●中央新幹線推進本部



▲シールドトンネル内部



▲取材対応の様子
(写真中央奥が小野口中央新幹線神奈川(東)工事事務所長)

1月15日、神奈川県川崎市の第一首都圏トンネル(東百合丘工区)において、中央新幹線のシールドトンネル工事として初となる報道公開を実施しました。

同工区は、国土交通大臣から大深度地下使用法^{※1}に基づく認可を受けて、東百合丘非常口から名古屋方の片平非常口までの約4.2kmをシールド機と呼ばれる直径が約14mの巨大な円筒形の掘削機により掘進するものです。

2023年3月から9月にかけて、掘進初期の取組みである調査掘進^{※2}を行い、約133mの区間を掘削しました。そして、同年12月に計画路線周辺にお住まいの方々を対象に調査掘進での確認結果に関する説明会を開催し、掘進による周辺への影響がなかったこと及び適切な施工管理ができることを確認し、これらの確認結果について専門家に確認いただいたことを説明しました。

このような節目を迎えたことを受けて、当社の取組み内容を多くの方々に紹介したいと考え、報道陣に現場を公開した

ものです。全国ニュースや全国紙などで大きく取り上げられ、中央新幹線のシールドトンネル工事が安全かつ着実に進んでいることを世の中にアピールすることができました。

現在は、シールド機の後ろにつなぐ一連の設備の設置や工事施工ヤード内の各種設備の整備などを行っており、今年9月頃から本格的な掘進を開始する予定です。引き続き、地域の皆さまへの丁寧な説明を心がけながら、中央新幹線建設を推進していきます。

※1 大深度地下の公共的利用に関する特別措置法。

※2 シールドトンネル工事の安全対策と周辺環境への影響の実地確認に主眼を置いて行う掘進。



▲東百合丘非常口

いいもの探訪

I I M O N O T A N B O U

事業推進本部では、当社沿線で愛されている「いいもの」を産地直送でお届けする通販サイト「いいもの探訪」を運営しています。当社と生産者が一体となって地域活性化を目指し、各地に受け継がれてきた文化や伝統を未来へ繋いでいく取組みです。

いいもの 探訪 お中元

いいもの探訪サイトから、この時期おすすめの商品をご紹介します。大切な方への贈り物にはもちろんのこと、暑さで食欲の落ちるこの時期、いつもとはちょっと違うものをお求めの方にもおすすめです。

滋賀 西友 うなぎ茶漬け

白焼きしたうなぎに山椒を合わせてじっくり煮上げた佃煮は、山椒の風味と香ばしいうなぎの旨味が凝縮。お茶漬けはもちろんのこと、おつまみとしてそのまま食べても美味しい逸品です。



岐阜 喫茶室山脈 コーヒーゼリー

自家焙煎した香り高いコーヒーで作るゼリーは、涼を感じながらしっかりとしたコーヒーの味を楽しめます。コーヒー好きな方へのギフトにおすすめです。



「いいもの探訪」ホームページ <https://e-mono.jr-central.co.jp>

サイトでは、いいもの探訪限定の商品も多数ご紹介しています。



「いいもの探訪」でお買い物を楽しんでいただける、お得なクーポンプレゼント

[300円OFF!]

いいもの探訪でご購入の際、右記クーポンコードを入力いただくと、1会計から300円OFFとなります。

300円引クーポンコード
ob2407

2024年7月31日ご注文分まで有効。
何度でもご利用可能。
※半角でご入力ください。

※写真はすべてイメージです。

円空さんを訪ねて

名古屋地本 美濃太田支部
杉山 宣仁



江戸時代前期に仏像を彫りながら諸国を行脚した僧「円空」は岐阜県美濃の国の生まれ、しかしその生涯について私は全く知りませんでした。退職後の短い期間でありましたが地元の観光協会の手伝いをする機会があり、観光の掘り起こしということで我が町にある45体の円空像を調査するなか、その独特な表現にだんだんと引き込まれていきました。

現在全国に円空像は約5,400体が確認され、多くは愛知県、岐阜県に存在し、特に飛騨地方の像は晩年の円熟期の作と言われる人気があります。運慶・快慶のような仏師による仏像には決まった彫り方や基本(儀軌)があるようですが、円空の仏像は全く自由奔放に彫られており多くの円空ファン同様に魅力を感じるようになりました。円空は仏像だけではなく神像も彫っていますがそれらの仏神像にはオリジナルな像もたくさんあり、現代彫刻にも通ずる円空の想像力の豊かさが大きな魅力となっています。

円空像の魅力の最大の特徴は「微笑み」でしょう、やさしさがある如来像や菩薩像はもちろんです、怖い顔が特徴の不動明王や青面金剛神像も円空の像では口元に



はかすかな笑みがみられます。この微笑みの魅力に自ら像を彫ることにチャレンジされる方もたくさんいて展示会もあるようです。

円空は飛騨地方へは三度訪れていることがその地方の古文書により知られていますが円空自身の旅日記のようなものは確認されていません。また多くの像は像名が背面に書かれていますが作像の日が書かれているものは十数体とわずかです、ゆえに諸国行脚の行程等には謎が多く研究の成果が待たれています。まだまだ拝観したい像は全国にたくさんあります。これからの日々そうした円空さんを訪ね、その微笑みの感動に浸りたいと思います。



▲円空像

我が支部の誇り



織田信長生誕の地

名古屋地本 津島支部 鈴木 浩人



▲夜間津島天王祭の様子



▲置かれた幼少期の信長像

津島支部は、津島地区、一宮地区、稲沢地区、佐屋地区、あま地区に在住するOB会員20名で構成されています。地域も縁が多く田園風景で住みやすく、歴史的には戦国の三英傑、織田信長が「勝幡城」で生まれたといわれています。勝幡城の城域は、愛西市と稲沢市に広がりますが、城の中心は平和町城西(現在の城之内)付近と推定され、信長の生誕は1534年。信秀が那古野城を攻略して移ったのは実際にはもっと後という説もあり、信長はこの勝幡城で生まれてから那古野城へ移ったという説が今では主流になっています。戦国時代の津島は「尾張の金銀はすべて津島を経由する」と言われ、尾張最大の商業都市でした。勝幡城を拠点とする織田弾正忠家は津島の経済力を背景に勢力を伸張し、信長の頃から主家をのぐようになり、織田信長は尾張国を統一し、全国制覇を目指し

たといわれています。

また、日本三大川祭りの一つ「尾張津島天王祭」が愛知県津島市で7月22日・23日に開かれました。過去5年間は台風や新型コロナウイルスの影響で中止や規模を縮小して開催していましたが、昨年は6年ぶりに観覧席が設けられ、ちょうちんを付けたまさわら船が久しぶりに登場、訪れた5万3千人(主催者発表)が伝統の祭りを楽しみました。

最後に、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、インフルエンザなどと同じ「5類」に移行し、法律に基づいた外出自粛の要請などはなくなり、感染対策は個人の判断に委ねられました。高齢者・重症化リスクの高い私達は、「手洗い」「マスク着用」など、感染症対策を行いつつ、今後も地域と共存しながら元気に活動していきたいと考えています。

文芸

【川柳】

【俳句】

砕け散る 波の白さよ 夏立てり
炎天下 都活帰りの 早歩き

静岡地本清水支部 吉川武子

漁火の 徐々に灯りて 生ビール

田舎には 田舎の灯り 初夏

名古屋地本岐阜工務局支部 大友秀明

記憶力 認知検査を 押え込む

静岡地本富士宮支部 渡辺定喜

避暑に行く 今日も朝から 図書館へ

名古屋地本三河支部 加藤哲郎

三世帯 握いの腕で テープ切る

名古屋地本大府支部 家田 采

結る程 失点増える 草野球

名古屋地本大府支部 的場博治

【短歌】

包む手を 開いた刹那 飛蝗
挑ね渾き草生 夢を染めて

選者には 煮ぐまれぬまま 埋る短歌

来世の人の 歌評は如何

静岡地本助田支部 石田正和

子らの声 弾む公園 夢消す

名古屋地本大府支部 嶋田 勇

満点に 遠い生き方 辛寿絶す

名古屋地本大府支部 藤井芳雄

小走りて 急用すまず 妻の足

名古屋地本名古屋運輸車両支部 山田 愛

星空に 手が届きそう 山の小屋

名古屋地本名古屋運輸車両支部 山田孝子

編集後記

5月29日東海鉄道OB会本部総会が開催されました。JR東海から丹羽社長に来賓としてご出席いただき、JR東海の現状、運輸収入・リニア中央新幹線について、また、OB会員のさわかウォーキングへの運営協力等へお礼のお言葉をいただきました。6月には、静岡・名古屋地方本部総会が開催され、各支部においてもほとんどの箇所で開催されました。支部によっては、支部長・役員交代もあり、新体制でスタートを切った支部もあります。

1. 本部より

今回、5月25日までに開催された30支部より、総会出席者の写真をご提供いただき紹介させていただきました。次号(10月)につきましても、引き続き紹介させていただきます。

2. 地本・支部日より

静岡地方本部、身延支部からは、会員14名による新年会を開催。近況報告、国鉄時代の思い出について、甲州井での会話が盛り上がり、次回の再会を約束しました。浜松工場支部からは、支部として、浜松市社会福祉協議会主催の福祉ふれあいフェスティバルに参加、「昭和の遊び」と鉄道写真の展示を行ってきましたが、2020年以降コロナ感染拡大により中止。会員の高齢化もあり残念。昨年福祉ふれあいフェスティバルが再開され11・12月の2回「写真展示会」に亡き島山茂文氏、会員2名の写真(在来線、新幹線車両)を展示、大変好評いただき、引き続

き協力をしていきたいと投稿いただきました。名古屋地方本部、名古屋東支部から、支部間の交流活動、名古屋地域協議会の活動再開「笠寺観音と見講台考古資料館散策」についていただきました。中津川支部からは、定期的なさわかウォーキングの協力、SLの維持・管理、地域住民との交流を評価され、昨年11月中津川駅長から「感謝状」を拝受しました。

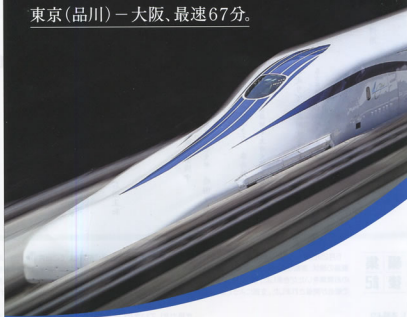
3. 読者のひろば

美濃太田支部の杉山宣仁さまは、地元観光協会の観光廻り起して、45体の円空像を調査することとなり、円空像の魅力を感じ、円空像の最大の魅力は「微笑み」。これからも円空さんを訪ね、その微笑みの感動に浸りたいとのことです。津島支部の鈴木浩人さまからは、津島支部会員の在住する地区は「織田信長生誕の地」であり、また、日本三大川祭りの一つ「尾張津島天王祭」が開催される地区である、とご紹介いただきました。(石田)

三大都市圏を 一つの巨大都市圏に。

東京(品川)－名古屋、最速40分。

東京(品川)－大阪、最速67分。



リニア中央新幹線

早期開業にむけて全力で取り組んでいます。

詳しくはこちら ▶ <https://linear-chuo-shinkansen.jr-central.co.jp/>

